

令和8年度 金沢市立兼六小学校 学校経営方針

令和8年4月1日

金沢市立兼六小学校長 北村 弘樹

1 校訓・教育目標

校訓「やさしく・かしこく・うつくしく」

教育目標「自ら考え行動する子の育成」

2 学校経営方針

児童や教職員の安全・安心を保証し、地域・家庭と連携しながら、安定した教育活動を創る学校

3 めざす児童像・学校像・教師像

(1) めざす児童像 (やさしく・かしこく・うつくしく)		
◎やさしく (徳) 進んでなかよく助け合う子	◎かしこく (知) 進んで学び合う子	◎うつくしく (体・徳) 進んでよい力を発揮できる子

(2) めざす学校像 (やさしく・かしこく・うつくしく)		
◎やさしく (徳) 一人一人の命と尊厳が守られ、 より良い関係性を育む、安全で 安心できる学校	◎かしこく (知) 金沢探究スタイルを推進すると ともに、確かな学力の定着に努 める安定した学校	◎うつくしく (体・徳) 豊かな心と健やかな体を育み、 自分から行動できる場を工夫す る安定した学校

(3) めざす教師像 (やさしく・かしこく・うつくしく)		
◎やさしく (徳) 児童一人一人のよさを見つけ、認 め、伸ばそうとする教師	◎かしこく (知) 常に研鑽に努め、学び合い、 高め合う教師	◎うつくしく (体・徳) 豊かな心で、児童、家庭、地域、 同僚と協働的に動く教師

4 学校経営方針の重点

- (1) 集団活動の中で自らを律しながら、他者とより良く関わり、協力し合う体験を通して、仲間と共に達成する喜びや自己有用感、共感的な関係性を培い、豊かな人間性を育む。
- (2) 金沢探究スタイルを推進し、主体的に学ぼうと意欲を高める授業づくりを行い、基礎的・基本的な知識・技能の定着、思考力・判断力・表現力の育成等、確かな学力の定着を図る。
- (3) 家庭と学校が連携して継続的に「豊かな心と健やかな身体づくり」の活動に取り組み、活動への意欲の土台となる基本的な生活習慣や規範意識の醸成を図る。
- (4) 児童の主体的な選択、相談、決定、発信の場を工夫し、教職員の「褒める・認める・励ます・価値づける」をベースとした指導・支援を通し、児童自ら行動する力を育てる。
- (5) 豊かな地域資源（兼六園・金沢城等の施設、加賀友禅・加賀宝生等の伝統文化、浅野川・卯辰山等の自然環境及び地域の方々）を積極的に学習に取り入れ、地域やふるさと金沢への理解を深め、次代への継承と新しい価値を創造していく意欲を持つ子どもを育てる。
- (6) 組織的な学校づくりを推進し、業務改善、適正化に努め、児童と関わる時間を確保すること、個々の強みを活かすことで、教職員一人一人にとって、働きがいのある学校づくりを進める。